

**2022年3月期 第2四半期  
決算説明会**

タカラバイオ株式会社  
2021年11月11日

## 本日の内容

- ・ **22/03期 第2四半期 業績**
- ・ 22/03期 通期 業績予想
- ・ 事業の進捗と今後の施策

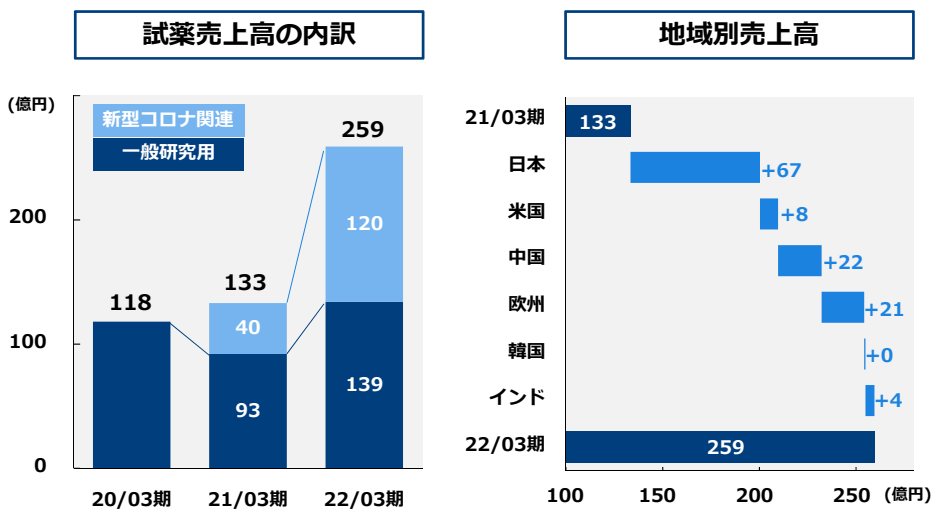
## 22/03期 第2四半期 業績

(百万円)	22/03期 第2四半期	前期比	予想比 (8/3発表値)	
売上高	31,551	+14,158 +81.4%	+1,851 +6.2%	<b>試薬</b> 新型コロナウイルスPCR検査関連製品が伸長。一般研究用試薬が回復基調。
試薬	25,966	+12,629 +94.7%	+1,908 +7.9%	<b>機器</b> PCR装置が好調。
機器	712	+245 +52.6%	▲78 ▲9.9%	<b>受託</b> 再生医療等製品、遺伝子解析・検査、ワクチン関連受託すべて好調。
受託	4,732	+1,358 +40.3%	+5 +0.1%	<b>遺伝子医療</b> 治験用製品が減収。
遺伝子医療	140	▲75 ▲35.0%	+16 +13.4%	<b>売上総利益</b> 増収と受託の利益率改善で増益。
売上総利益	23,495	+11,667 +98.6%	+2,544 +12.1%	<b>営業利益</b> 研究開発費、人件費を中心に一般管理費が増加するも、売上総利益の増加効果が大きく、増益。
営業利益	14,105	+10,368 +277.5%	+2,705 +23.7%	

3 (注) いずれも前期比に関する説明



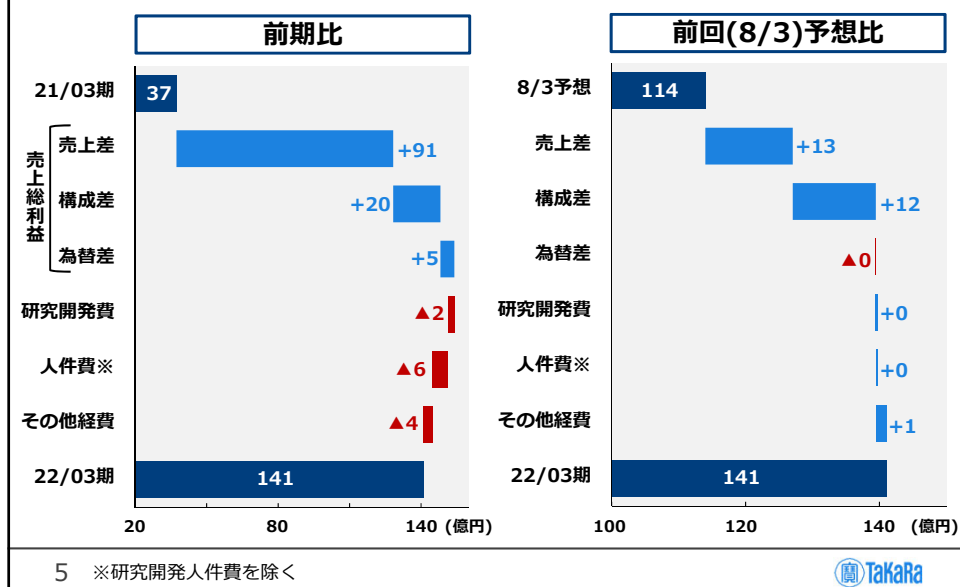
## 22/03期 第2四半期 業績：試薬事業



4



## 22/03期 第2四半期 業績：営業利益



## 本日の内容

- ・ 22/03期 第2四半期 業績
- ・ 22/03期 通期 業績予想
- ・ 事業の進捗と今後の施策

## 22/03期 通期 業績 (予想)

(百万円)	22/03期 通期予想	前期比	予想比 (8/3発表値)
売上高	59,300	+13,213 +28.7%	+5,100 +9.4%
試薬	46,375	+11,186 +31.8%	+5,781 +14.2%
機器	1,388	▲337 ▲19.6%	▲153 ▲9.9%
受託	11,388	+2,486 +27.9%	+41 +0.4%
遺伝子医療	146	▲121 ▲45.4%	▲569 ▲79.5%
売上総利益	40,502	+8,630 +27.1%	+3,235 +8.7%
営業利益	20,000	+6,047 +43.3	+3,000 +17.6%

### 試薬

一般研究用試薬の回復が本格化。新型コロナウイルス検査関連製品も伸長。

### 機器

新型コロナウイルス検査関連のPCR装置需要が一巡し減収。

### 受託

再生医療等製品、遺伝子解析・検査、ワクチン関連受託すべて堅調。

### 遺伝子医療

治験用製品が減収。

### 売上総利益

増収と受託の利益率改善で増益。

### 営業利益

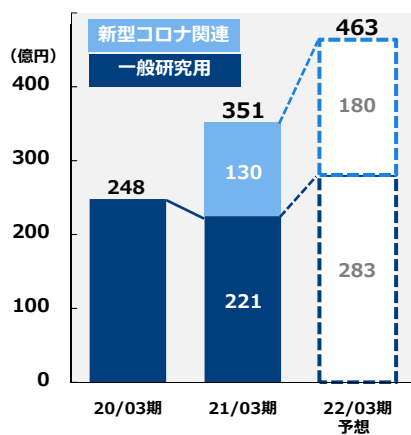
13期連続の増益予想。

7 (注) いずれも前期比に関する説明

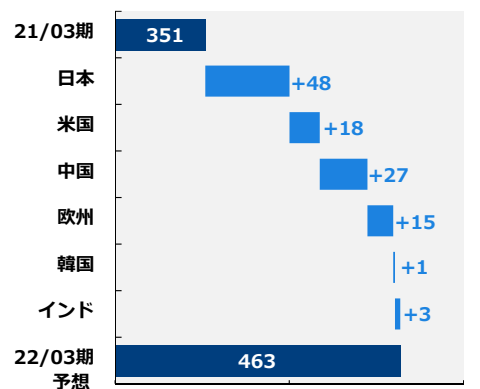


## 22/03期 通期 業績 (予想) : 試薬事業①

### 試薬売上高の内訳



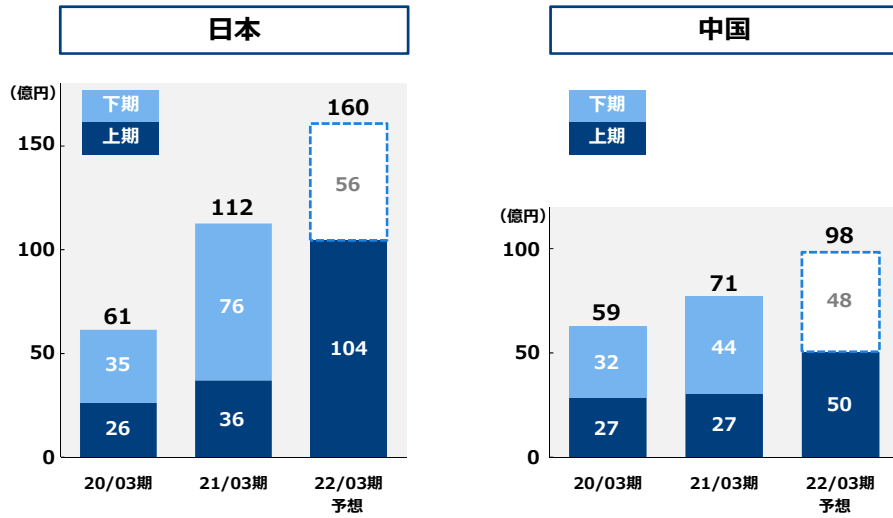
### 地域別売上高



8



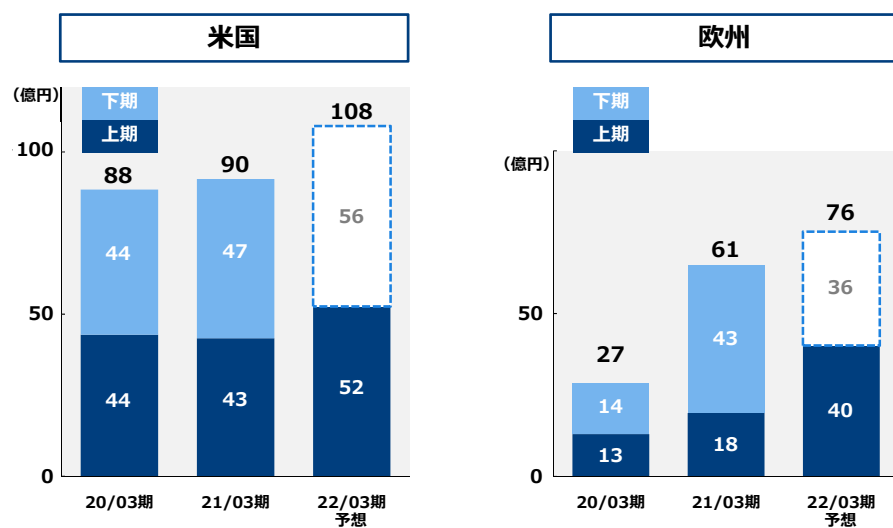
## 22/03期 通期業績（予想）：試薬事業② 地域別売上高



9



## 22/03期 通期業績（予想）：試薬事業③ 地域別売上高

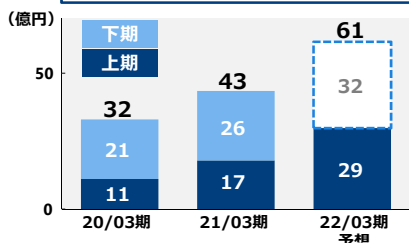


10



## 22/03期 通期 業績（予想）：受託事業

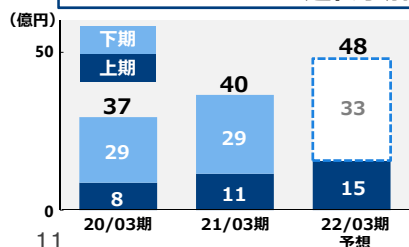
### 再生医療等製品関連受託 売上高



- 製薬企業やバイオベンチャーの再生医療等製品開発プロジェクトが活発化しており、受注が好調。

- 複数の新型コロナウイルスワクチン関連プロジェクトを受注。増収の一因となる。

### 遺伝子解析・検査受託 売上高

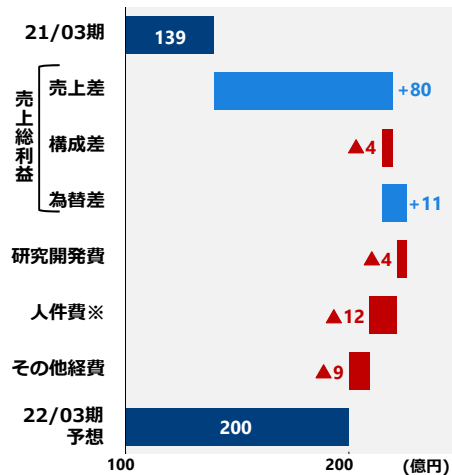


- 複数の大型ゲノムプロジェクトの受注等により堅調に推移。

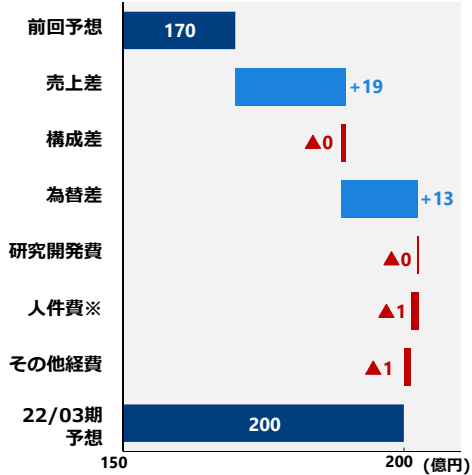
- アカデミアに加え、企業の次世代シーケンサー解析関連受託も好調。

## 22/03期 通期 業績（予想）：営業利益

### 前期比



### 前回(8/3)予想比



12 ※研究開発人件費を除く



## 本日の内容

- ・ 22/03期 第2四半期 業績
- ・ 22/03期 通期 業績予想
- ・ 事業の進捗状況と今後の施策

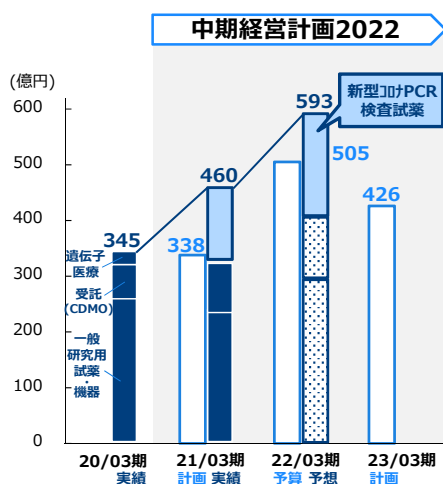
13



## 「中期経営計画2022」の進捗：

### ① 連結売上高（業績管理指標; KPI）

#### 売上高推移と計画



#### 現状認識と方向性

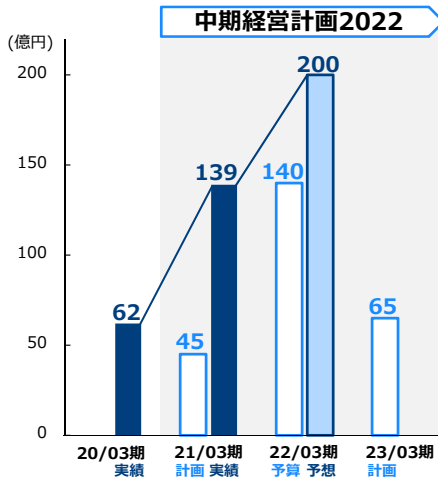
- 21/03期は、一般研究用試薬・機器は減収となったが、新型コロナウイルスPCR検査試薬の需要に迅速に対応し、大幅増収。
- 22/03期の予想は593億円、「中期経営計画2022」最終年度(23/03期)の目標水準を大幅に上回っている。
- 新型コロナウイルスPCR検査試薬の需要増による上振れ分を除いた、一般研究用試薬・機器・受託(CDMO)事業の売上は堅調に伸びており、23/03期の目標水準に達している。
- 今後は、新型コロナウイルスPCR検査需要の減少を前提とし、試薬・CDMO事業を軸とする継続的な売上拡大を目指す。

14



## 「中期経営計画2022」の進捗： ② 連結営業利益（重要目標達成指標; KGI）

### 営業利益推移と計画



### 現状認識と方向性

- 21/03期は、COVID-19パンデミックによるマイナス影響を最大限に織り込んだ減益予想からスタートしたが、実績は大きく上振れた。
- 22/03期の予想値は200億円、「中期経営計画2022」最終年度(23/03期)の目標水準を大幅に上回っている。
- 「長期経営構想2025」最終年度(26/03期)の目標値である100億円をも達成している。
- 「長期経営構想2025」の方向性はそのままに、研究開発投資を前倒しに行い、積極的に創薬基盤技術開発を進める。

15



## 強みのPCR技術開発力を駆使し、 高機能製品を継続的に開発、応用分野も拡大

### ● 高機能PCR用酵素「TaKaRa Ex Premier DNA Polymerase」を発売 (2021年10月)

- ・ 実験の「成功率」「正確性」「使いやすさ」を追求した新規フラッグシップPCR酵素

### ● 下水中の新型コロナウイルス遺伝子を検出するPCRキットを発売 (2021年10月)

- ・ 検出感度の向上や、反応時間の大幅短縮を実現。疫学調査・研究への活用を期待。
- ・ 山梨大学大学院 原本英司教授との共同研究成果

### ● 腸管系病原細菌遺伝子を検出するPCRキットを発売 (2021年10月)

- ・ 厚生労働省が調理従事者等に対して求める検便検査用。
- ・ 食中毒の原因となる腸管出血性大腸菌、サルモネラ属菌、赤痢菌の三菌種を同時測定。
- ・ 従来製品に比べ、操作性の大幅な向上と検査時間の短縮を実現。

### ● 豚熱・アフリカ豚熱の同時診断用PCRキットを発売 (2021年11月)

- ・ 検体からのウイルスDNA/RNA抽出・精製工程が不要で、従来法に比べ大幅な時間短縮、労力削減を実現。
- ・ 農林水産省委託研究「安全な農畜水産物安定供給のための包括的かつ1対1の研究推進委託事業」のうち、「官民・国際連携によるASF/アフリカ豚熱の加速化」における国立研究開発法人農研機構との共同研究成果

16



## 研究開発・製造体制の最適化が着実に進行中 日本と米国の新施設が稼働開始

### 体外診断用医薬品などの 国内新製造施設

所在地	滋賀県草津市 本社事業所内
床面積	約790 m <sup>2</sup>
製造能力	月産800万PCR反応分
投資規模	約10億円

- 経済産業省「サプライチェーン対策のための国内投資促進事業費補助金」に採択。
- PCR検査試薬等の国内安定供給、サプライチェーン上のリスク低減を実現。



17 90L 微生物培養槽

自動充填装置

### 米国子会社 Takara Bio USA の 新拠点

所在地	カリフォルニア州サンディエゴ市 (サンディエゴ国際空港より車で約10分)
土地面積	約 30,000 m <sup>2</sup>
建物面積	約 12,000 m <sup>2</sup> (6,000 m <sup>2</sup> ×2棟)
投資規模	約100億円

- 次世代シーケンサーによるゲノム解析、シングルセル解析などの先端研究向け製品開発機能をさらに強化・拡充。
- グループの研究開発体制の最適化を推進、さらなる生産性向上を図る。
- 米国内向けPCR酵素などの製造機能を新たに配備。現地需要に応じた機動的な製品供給が可能に。

## 大塚製薬(株)との提携状況について TBI-1401とTBI-1501の契約を終了、TBI-1301は提携継続

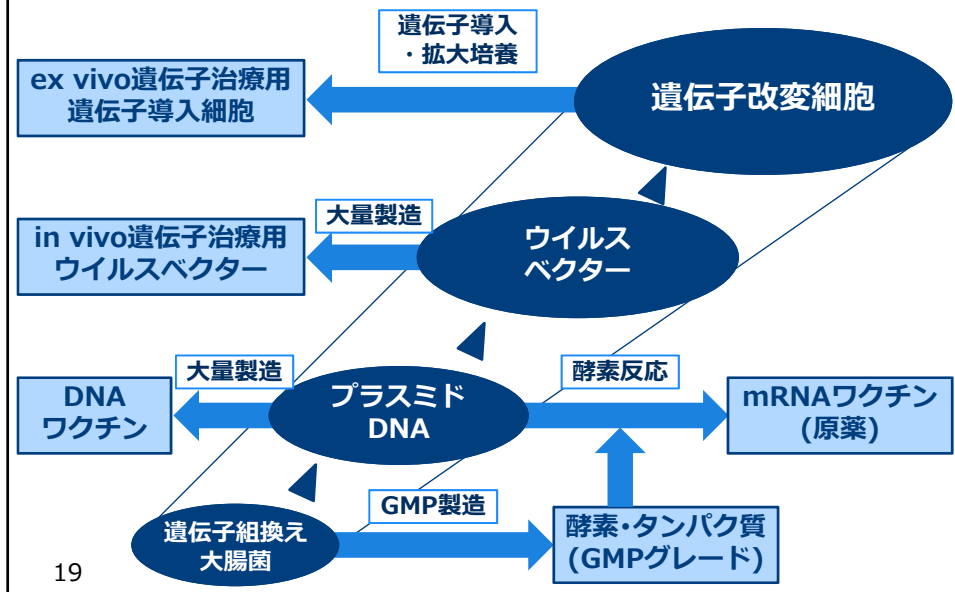
### 提携契約を終了した品目

<b>C-REV (TBI-1401)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 対象契約：「腫瘍溶解性ウイルスHF10開発及び販売に関する契約」(2016年12月15日締結)</li> <li>● 脾臓癌を対象とした第I相臨床試験結果を踏まえ、今後の開発に要する期間等を考慮。</li> </ul>
<b>CD19・CAR (TBI-1501)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 対象契約：「CD19・CAR遺伝子治療共同開発及び販売に関する契約」(2018年4月9日締結)</li> <li>● 成人急性リンパ芽球性白血病を対象とした第I/II相臨床試験の期間長期化や、競合品の承認などの状況を考慮。</li> </ul>

### 共同開発を継続する品目

<b>NY-ESO-1・siTCR® (TBI-1301)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 製造販売承認申請に必要な信頼性保証体制を整備中。</li> <li>● 当社における市販後の製造体制を構築中。</li> <li>● 準備が整い次第、大塚製薬(株)により、日本における製造販売承認申請を予定。</li> </ul>
---------------------------------------	--

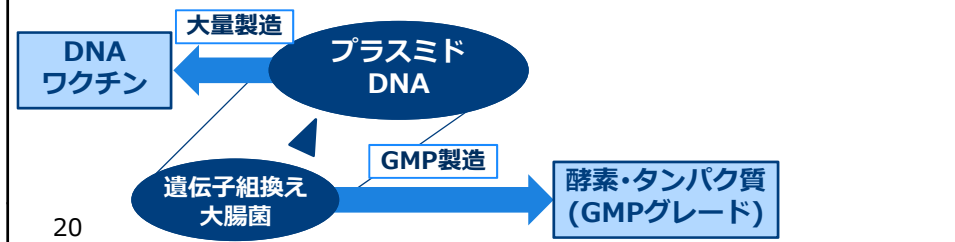
**CDMO事業(再生医療等製品関連受託) :  
遺伝子治療関連技術を活用し、多様なモダリティへ展開**



19

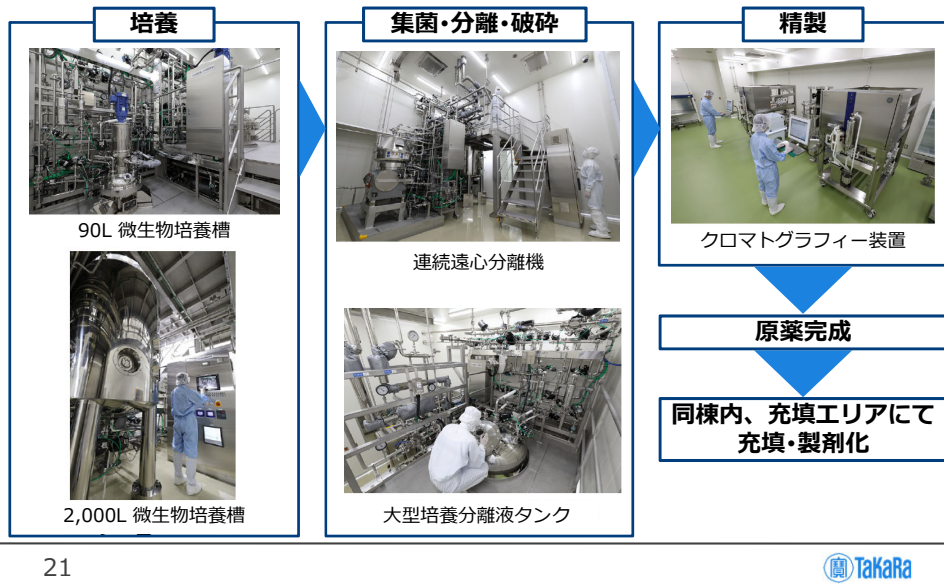
**遺伝子組換え大腸菌による  
酵素タンパク質・プラスミドDNAの製造**

- 微生物培養による、GMPグレードタンパク質（mRNA合成用酵素、RetroNectin®など）の製造を強化。
- プラスミドDNAは、DNAワクチンの他、遺伝子治療用アデノ随伴ウイルス(AAV)ベクターや、mRNAワクチンなどの原材料となる。
- アンジェス株式会社が進める新型コロナウイルス感染症に対するDNAワクチン開発プロジェクトに参画。厚生労働省「ワクチン生産体制等緊急整備事業」の補助金を活用、プラスミドDNAの大量製造体制を整備中。



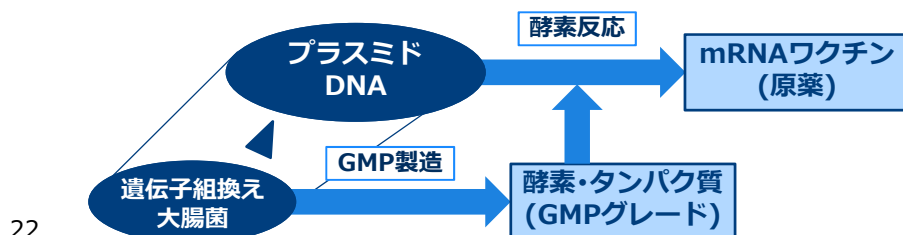
20

## プラスミドDNAの大量製造エリアを 遺伝子・細胞プロセッシングセンター2号棟内に整備中



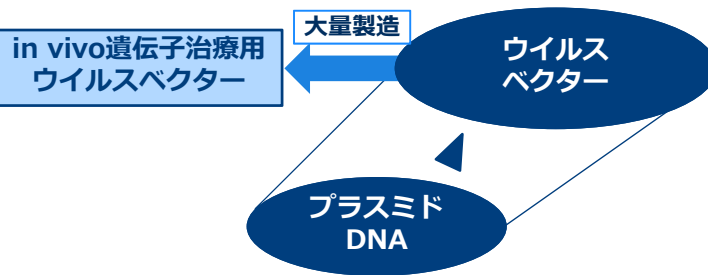
## mRNAワクチンは、プラスミドDNAを原材料として 酵素反応により製造される

- 遺伝子治療用ベクターのGMP製造技術・キャパシティを活用。
- プラスミドDNAやmRNA合成酵素などの原材料・試薬類も自社製造する計画。酵素類の機能改良による高効率製造法の開発も進行中。
- VLP Therapeutics Japan合同会社と、新型コロナウイルス感染症に対するレプリコン(次世代mRNA)ワクチン原薬の製造委受託に関する契約を締結。



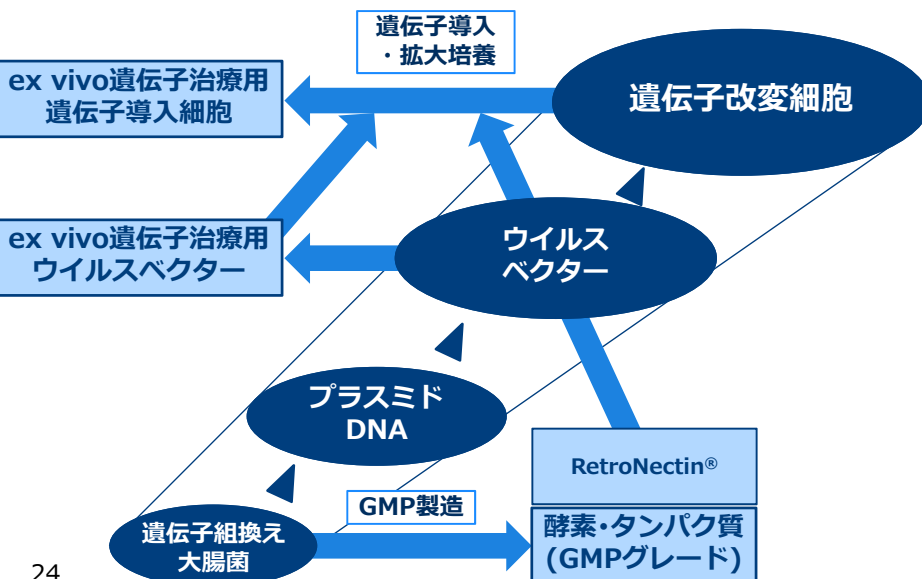
## 遺伝子治療用ウイルスベクターの製造には ウイルス高産生細胞株や高効率精製技術が必要

- 高品質なアデノ随伴ウイルス(AAV)ベクターや、レンチウイルスベクターなどの大量製造技術の開発に注力。
- in vivo遺伝子治療に使われるAAVベクターの、2,000Lクラスの大規模製造にも対応する計画。



23


## 他家細胞への応用も視野に 遺伝子改変細胞の大量・高効率製造技術開発に注力



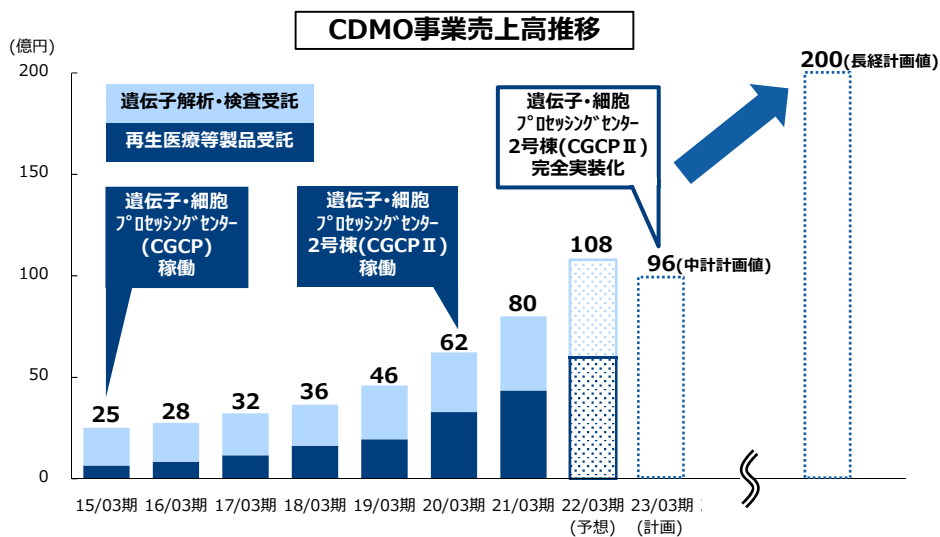
24

## 遺伝子・細胞プロセッシングセンターを完全実装し CDMO事業拡大のドライビングフォースとする

### 主要設備・装置

		1 遺伝子・細胞 プロセッシングセンター (CGCP)	2 遺伝子・細胞 プロセッシングセンター 2号棟 (CGCP II)
 <p>本社事業所 (滋賀県草津市)</p> <p><b>3 本館研究棟</b></p> <p>約1,200m<sup>2</sup>専用フロア 大規模～小規模解析用 各種次世代シーケンサー ヒトゲノム換算で 約7,000人分/月 解析可能</p> <p><b>遺伝子 解析・検査</b></p>	プラスミド・DNA タンパク質	シングルユース培養槽：200L×3 マルチング式振とう培養器： 25L×2	<b>微生物培養槽：</b> <b>(90L &amp; 2,000L)×2</b> <b>【2022年稼働予定】</b>
	ウイルス ベクター	・計6室 ・多段ワイド(最大40段) ・マルチング式振とう培養器 25L×2	・シングルユース培養槽 (固定床システム)×1 ・マルチング式振とう培養器 25L×2 シングルユース培養槽 200L×1 <b>(200L &amp; 2,000L級)×1</b> <b>【2022年稼働予定】</b>
	細胞製剤	・計11室 ・安全キャビネット×31台 ・CO <sub>2</sub> インキュベーター×40台 ・閉鎖系自動細胞調製装置	<b>計3室</b> <b>【2023年稼働予定】</b>
	品質試験	—	約1,900m <sup>2</sup> 専用フロア 微生物・ウイルス試験 PCR試験、細胞試験など
	無菌充填	自動充填装置 (3,000ℓ/日)	自動充填装置 (20,000ℓ/日)

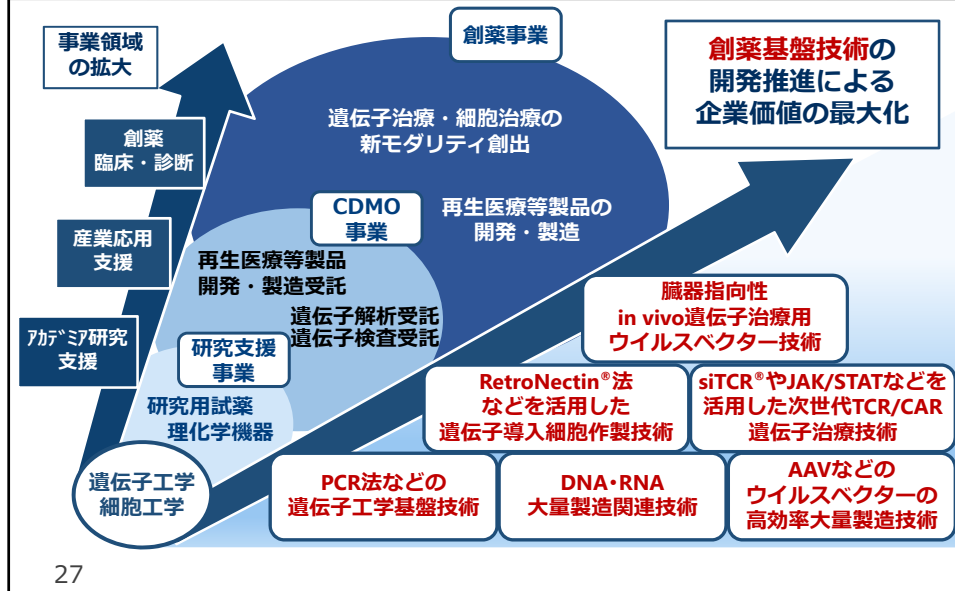
## 「中期経営計画2022」の定量目標をすでに達成 早期にCDMO事業売上高200億円を目指す



26 ※タカラバイオ単体実績 (現在の売上分類に換算した数値) / 予想で表示。



## 新モダリティを創出する基盤技術の開発により 事業展開をさらに加速させる



## 参考資料（22/03期業績）

【参考資料】

- ・連結業績（第2四半期）
- ・連結業績（通期予想）
- ・カテゴリー別売上高（第2四半期）
- ・カテゴリー別売上高（通期予想）
- ・試薬所在地別売上高（第2四半期）
- ・試薬所在地別売上高（通期予想）
- ・会社別業績（第2四半期、通期予想）
- ・為替レート（実績・予想）

【参考資料】

## 連結業績（第2四半期）

（百万円）

	22/03期 第2四半期	前期比		8/3予想比	
		増減	増減率	増減	増減率
売上高	31,551	+14,158	+81.4%	+1,851	+6.2%
売上原価	8,056	+2,490	+44.7%	▲693	▲7.9%
売上総利益	23,495	+11,667	+98.6%	+2,544	+12.1%
販売費及び 一般管理費	9,389	+1,298	+16.1%	▲160	▲1.7%
営業利益	14,105	+10,368	+277.5%	+2,705	+23.7%
経常利益	14,241	+10,421	+272.8%	+2,841	+24.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	10,009	+7,734	+340.1%	+2,109	+26.7%

29

TakaRa

【参考資料】

## 連結業績（通期予想）

（百万円）

	22/03期 通期予想	前期比		8/3予想比	
		増減	増減率	増減	増減率
売上高	59,300	+13,213	+28.7%	+5,100	+9.4%
売上原価	18,797	+4,582	+32.2%	+1,864	+11.0%
売上総利益	40,502	+8,630	+27.1%	+3,235	+8.7%
販売費及び 一般管理費	20,502	+2,583	+14.4%	+235	+1.2%
営業利益	20,000	+6,047	+43.3%	+3,000	+17.6%
経常利益	20,200	+6,040	+42.7%	+3,100	+18.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	14,100	+4,552	+47.7%	+2,200	+18.5%

30

TakaRa

【参考資料】

## カテゴリー別売上高（第2四半期）

(百万円)

	22/03期 第2四半期	前期比		8/3予想比	
		増減	増減率	増減	増減率
試薬	25,966	+12,629	+94.7%	+1,908	+7.9%
機器	712	+245	+52.6%	▲78	▲9.9%
受託	4,732	+1,358	+40.3%	+5	+0.1%
遺伝子医療	140	▲75	▲35%	+16	+13.4%
売上高合計	31,551	+14,158	+81.4%	+1,851	+6.2%

31



【参考資料】

## カテゴリー別売上高（通期予想）

(百万円)

	22/03期 通期予想	前期比		8/3予想比	
		増減	増減率	増減	増減率
試薬	46,375	+11,186	+31.8%	+5,781	+14.2%
機器	1,388	▲337	▲19.6%	▲153	▲9.9%
受託	11,388	+2,486	+27.9%	+41	+0.4%
遺伝子医療	146	▲121	▲45.4%	▲569	▲79.5%
売上高合計	59,300	+13,213	+28.7%	+5,099	+9.4%

32





【参考資料】

## 試薬所在地別売上高（第2四半期）

(百万円)

	22/03期 第2四半期	前期比（為替影響除く）	
		増減	増減率
日本	10,452	+6,754	+182.7%
米国	5,202	+920	+21.4%
中国	5,026	+1,864	+67.2%
欧州	4,041	+1,860	+100.4%
印度	683	+456	+205.7%
韓国	559	+32	+6.6%
合計	25,966	+11,889	+89.1%

33



【参考資料】

## 試薬所在地別売上高（通期予想）

(百万円)

	22/03期 通期予想	前期比（為替影響除く）		8/3予想比（為替影響除く）	
		増減	増減率	増減	増減率
日本	16,082	+4,824	+42.8%	+2,475	+18.2%
米国	10,815	+1,512	+16.7%	+88	+0.9%
中国	9,840	+1,962	+27.6%	+940	+12.0%
欧州	7,601	+1,023	+16.7%	+157	+2.3%
韓国	1,082	+45	+4.6%	+6	+0.6%
印度	953	+263	+40.4%	▲37	▲4.0%
合計	46,375	+9,631	+27.4%	+3,631	+8.9%

34



【参考資料】

## 会社別業績（第2四半期、通期予想）

(百万円)

	第2四半期 実績		通期（予想）	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
タカラバイオ (単体)	23,555	11,149	41,847	14,486
Takara Bio Europe (連結)	4,203	825	8,041	1,459
宝生物工程 (大連)	2,537	785	4,539	1,214
宝日医生物技術 (北京)	5,368	979	10,463	1,627
Takara Korea Biomedical	604	100	1,180	186
DSS Takara India	691	122	971	144
Takara Bio USA	6,367	765	13,144	1,418

35



【参考資料】

## 為替レート（実績・予想）

(単位：円)	21/03期 第2四半期	21/03期 通期	22/03期 第2四半期	22/03期 通期
	実績	実績	実績	予想
米ドル	108.25	106.77	107.82	109.10
ユーロ	119.34	121.88	129.88	129.60
人民元	15.38	15.48	16.67	16.80
100ウォン	8.97	9.06	9.64	9.60
インドルピー	1.46	1.44	1.47	1.50
スウェーデン クローナ	11.20	11.63	12.82	12.80
ポンド	-	-	149.78	150.10

36



## 将来の見通しに関する注意事項

資料中の当社による現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

**お問合せ先：広報・IR部**

**E-mail: [bio-ir@takara-bio.co.jp](mailto:bio-ir@takara-bio.co.jp)**